

Profile

映画ソムリエ。雑誌やWebをはじめ、映画公開イベントでのMCとしても活動中。独自視点のレビューが人気で、映画だけでなくカルチャーへの愛が止まらない。

一生の友というフレイズにあなたを誰を思い浮かべますか。アウトローに生きる若者たちの不安定な青春と、彼らにとつての「居場所」とは何かを問う『オアシス』は、利他的に生きる若者の姿と生涯の友情を捉えたバイオレンス青春映画です。

ある事件をきっかけに別の人生を歩んでいった幼馴染の富井と金森。現在は、地元のヤクザの構成員と犯罪組織メンバーとして敵対していた2人の前に、互いの心の拠りどころであり、ある事件から記憶障害になつていた幼馴染・紅花が現れる。紅花が組長の一人息子をめぐる事件に巻き込まれたことにより3人は組織から追われる身になつてしまう…。

これまでに『渇き』『東京リベンジャーズ2 血のハロウィン編ー運命ー』『決戦ー』などの話題作で共演し10代から活躍してきた清水尋也と高杉真宙。

人生には「愛する人」と「助ける友」がいればそれで充分

Vol.6

観

百

画

映



©2024 『オアシス』 製作委員会

『オアシス』

2024年11月15日 新宿武蔵野館ほか全国順次公開  
配給 / SPOTTED PRODUCTIONS  
スタッフ / 監督・脚本:岩屋拓郎、製作:藤本敦・前信介・直井卓俊、  
音楽:池永正二  
出演 / 清水尋也、高杉真宙 伊藤万理華、津田寛治、窪塚俊介、  
小木茂光  
上映時間 / 1時間33分  
■公式HP: <http://oasis--movie.com/>  
■公式 X: @OASIS\_MOVIE2024 (R15+)

の世界に入つて、最初にできた友人として、プライベートでも長きに渡り親交がある2人がW主演を果たし映画の中で青春を体験しているというのもドラマチックです。

清水、高杉そして運命を動かす幼馴染を演じる伊藤万理華の3人の醸し出す空気がとても良い。3人の揃うシーンは若さゆえの全能感と疾走感が生み出すエネルギーがスクリーンいっぱいにはとばしついで、熱量の高いヒリヒリした映画に仕上が

がっています。

特に閉じられた空間でひとときの自由を味わうシーンは印象的です。そこに閉塞感は一切なく、希望なんて感じる余裕すらないはずなのにただ目のまえの時間を堪能する。そしてそんな白昼夢のような懐かしいひとときを、まとわりついたじめつとした空気のように捉えたカメラアングル。相反する残酷さが面白く見入つてしまいました。『さがす』『死刑に至る病』などで凶暴で切実な映像を、『エゴイ

スト』で繊細な心の機微を捉えてきた池田直矢の撮影、これが初長編監督作という岩屋拓郎も注目の映画人です。

主人公たちの世代から、すっかり大人になりました。命がけで守りたい友人は、今の私にいるのでしょうか。年齢を重ねるにつれて、人間関係は揺らぎやすいものだと心の片隅において生きるようになりました。

自分の命をすり減らし、相手のために汚れることも厭わない。そんなたったひとつの『オアシス』を信じて嘘なく生きる彼らの崇高な魂はただまぶしくて、細胞が少しだけ返った気がしました。裏社会に身を置きながらも、居場所を取り戻し気高さに輝いていく眼差しは、ハードな世界でコントラストのように光を放っていました。

友情という名の衝動に真っすぐ生きる彼らに何か突き動かされたような時間です。